

まほろば秦野通信

平成30年3月2日

タイトル	地域に伝わる伝統文化を学習 源実朝公紙芝居 講演
When (いつ)	3月6日(火曜日) 午前9時35分～10時20分
Where (どこで)	秦野市立東小学校(寺山512)
Who (だれが)	東地区連合自治会長 高橋正弘
What (なにを)	源実朝公にまつわるお話と紙芝居上演
How (どのように)	2校時目に3年生全学年を対象に講演していただく。 地域にある中世の史跡「実朝公の御首塚」と波多野の庄とのかかわりなどについてのお話を伺い、その後紙芝居を上演していただきます。
Why (なぜ)	3年生の社会科の単元に「地域に伝わる行事」という単元があります。毎年、学区内にある源実朝公御首塚周辺を会場にして開催される「実朝まつり」は、子どもたちにとって身近でありながら豊かな歴史的背景を有する大切な地域行事の一つであることから、そこに焦点を当てた指導を計画しました。その中で、実朝まつり実行委員長でもある高橋連合自治会長から直接お話ししていただけることになりました。 また、昨年源実朝公の800回忌の新たな取り組みとして、地域の方々が協力して紙芝居を作成され、それを披露していただきます。
過去の実績	前任の連合自治会長の須山様の時から実施しており、今年度で4回目。
問い合わせ	秦野市立東小学校 担当：教頭 近藤順子 電話0463(81)1620